

# 第1章 労働力需給

## 1 雇用情勢の概況

平成29年4月の雇用失業情勢をみると、全国の完全失業率（季節調整値）は2.8%で、前年同月比0.4ポイント低下した。また、有効求人倍率は1.48倍で、前年同月比0.14ポイント上昇した。

本県の状況については、平成29年4月の新規求人数は8,322人で、前年同月比5.7%増加し、新規求職者数は5,875人で、前年同月比1.6%の減少となった。その結果、有効求人倍率（季節調整値）は1.24倍で、前年同月比0.11ポイント上昇した。

また、有効求人倍率を就業地別の有効求人倍率（季節調整値）で見た場合、平成29年4月における本県の有効求人倍率は1.43倍と更に高くなり、全国の1.48倍との差は僅差になっている。

本県の有効求人倍率の推移を見ると、平成26年度0.89倍（全国1.11倍）、平成27年度1.04倍（全国1.23倍）、平成28年度1.18倍（全国1.39倍）と増加を続け、雇用情勢は改善傾向にある。

※就業地別有効求人倍率 全国のハローワークで受理した求人から、実際の就業地が奈良県内になっている求人数を用いて算出する有効求人倍率

<参考>

	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
完全失業者数（全国）	万人	280	256	233	218	203
完全失業率（全国）	%	4.3	3.9	3.5	3.3	3.0
新規求職者数（奈良）	人	66,358	62,400	60,541	58,675	54,812
新規求人数（奈良）	人	79,392	83,829	82,362	92,815	98,468
新規求人倍率（奈良）	倍	1.20	1.34	1.36	1.58	1.79
有効求職者数（奈良）	人	292,562	270,251	253,048	244,184	231,819
有効求人数（奈良）	人	210,315	226,474	225,223	253,703	272,781
有効求人倍率（全国）	倍	0.82	0.97	1.11	1.23	1.39
有効求人倍率（奈良）	倍	0.72	0.84	0.89	1.04	1.18